

全国規模のロボットの総合フェスティバルを東京工芸大学が支援(主催)決定

『東京工芸大学Presents ロボットフェスティバル2018』をパシフィコ横浜で開催

東京工芸大学(学長:義江 龍一郎 所在地:東京都中野区、神奈川県厚木市、以下、本学)は、ロボットの祭典とも言える、ロボットフェスティバル(以下、ロボフェス)実施の主催者となること決定いたしました。

ロボフェスは、昨年、神奈川県厚木市にて開催されておりますが、今年は、さらに規模を拡大し、本学が全面的に支援する形で「東京工芸大学Presents ロボットフェスティバル2018」として、9月1日(土)にパシフィコ横浜にて開催いたします。

日本は、SONY社の「AIBO」やホンダ社の「ASIMO」など、ロボット先進国として世界に君臨しています。このロボットは、一見スマートに見えますが、実際には機械・電子・情報といった要素技術の複雑な組み合わせで成り立っています。このロボット技術を楽しみながら学べるように、本学内にロボット制作サークル「からくり工房」があります。工学部電子機械学科の准教授 鈴木 秀和(ロボットビジョン研究室)が「からくり工房」を主導し、「マイクロマウス大会」などのロボットコンテストに参加してまいりました。また、鈴木 秀和のロボットビジョン研究室では、高度な技術開発や研究を行っており、ロボットによるサッカー競技大会「RoboCup」に出場し、全国大会で優勝の実績があります。

このように、本学はロボットに関する大会等でも実績を示し、今日に至っておりますが、日本のロボット技術の高揚と楽しさを、本学が主体となって情報発信していきたいとの考えを持っています。その目的から、個々の大会の参加にとどまらず、ロボットに関する様々な大会を一堂に開催できるような仕組みづくりとその運営に主体的に参画するものです。

【東京工芸大学Presents ロボットフェスティバル2018について】

「東京工芸大学Presents ロボットフェスティバル2018」は、ロボットの祭典です。お子様から大人までどなたでも、観る・応援する・作る・体験する、様々な楽しみ方でロボットの世界を堪能していただけます。ロボコンエリアでは、国内でロボットコンテストと言えば必ず名前の挙がる有名なコンテストが揃い、それぞれに異なる面白さ、凄さ、驚きが体験できます。

名称	「東京工芸大学Presents ロボットフェスティバル2018」
開催日時	2018年9月1日(土) 10:00~16:00
開催場所	パシフィコ横浜 展示ホールC(3,300 m ²) ※来場者数の予測:3,500名以上
主催	東京工芸大学(ロボットフェスティバル2018実行委員会)
開催概要	<p>会場構成は、ロボコンエリアと体験エリアを設けています。</p> <p>○ロボコンエリア (5つのロボットコンテストを同会場で同時開催)</p> <p>①第30回全日本ロボット相撲大会 関東地区大会(昨年実績:約200台登録)</p> <p>②第36回マイクロマウス東日本地区大会(昨年実績:約180台登録)</p> <p>③ROBO-ONE 関東認定大会</p> <p>④ロボカップサッカー中型リーグ ロボットデモ</p> <p>⑤ミニ四駆AI エキシビジョン競技</p> <p style="text-align: right;">※大会参加者は、事前申し込みが必要です。 ※各競技の概要は、後記をご参照ください。</p> <p>○体験エリア</p> <p>各種工作教室を主体に、デモ展示や体験イベントを実施</p> <p>なお、他には、本学を紹介するコーナーも用意しています。ご期待ください。</p>

後援	神奈川県、神奈川県教育委員会、神奈川県厚木市、厚木商工会議所あつぎものづくりブランドプロジェクトATSUMO、ロボット研究開発拠点都市推進プロジェクトチーム アトム
協力	東京工芸大学工学部同窓会、公益社団法人全国工業高等学校長協会 公益財団法人ニューテクノロジー振興財団、富士ソフト株式会社 一般社団法人二足歩行ロボット協会
協賛	協賛各社
ホームページ	http://www.seit.t-kougei.ac.jp/vision/RobotFestival/
ロゴ	

【各競技の概要】

※**ロボット相撲大会**: 2台のロボットが土俵の上で戦う競技。ロボット自身が考えて戦う「自立型」と人間が操縦する「ラジコン型」があります。重量 3kgのロボットが予想を超えるスピードとパワーでぶつかり合い、一瞬で勝負が決します。迫力ある戦いが期待できます。

※**マイクロマウス**: 迷路を賢く解くロボットの競技会です。スタートからゴールまで、複雑な迷路を高速で走り抜ける、運動性能と人工知能を組み込んだ小型自律ロボットから目が離せません。迷路を解く競技の他にも、地面に引かれた白線を賢く速く走る時間を競うロボットレース競技も開催されます。

※**ROBO-ONE(ロボワン)**: 二足歩行ロボットの格闘競技大会です。ロボットの性能を確認する予選を突破したロボット達が、本戦では格闘します。個性あふれる様々な形状、動作のロボット達が、リング上で熱い戦いを繰り広げます。手に汗握るバトルとなります。

※**ロボカップサッカー**: サッカーロボットの競技大会です。ロボットは周囲を把握するカメラを搭載し、人間による操作無しに全て自律でサッカー競技を行います。レフェリーのホイッスルに合わせて、ロボット自身が考えた場所へ移動し、ゴールに向かってボールを運び、シュートします。

※**ミニ四駆AI**: 手のひらサイズのレーシングホビーとして知られるミニ四駆(TAMIYA)に、マイコンやセンサを搭載し、様々な知的ソフトウェアを組み込み、走行困難なコースに挑戦します。AI コントロールによる知的な車体制御で難しいコースを走破します。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

東京工芸大学 広報課 TEL 046-242-9600

e-mail : pr@office.t-kougei.ac.jp